

令和4年度 第6回 市民と議会との意見交換会 報告書



伊 那 市 議 会

はじめに



伊那市議会は、3年ぶりの開催で6回目となる「市民と議会との意見交換会」を、開催しました。

令和2年・3年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、開催の準備は進めておりましたが、残念ながら開催することができませんでした。

今年度は、当初8月開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延が少し治まった時期の10月に市内5会場で6日間開催し、多くの市民の皆様に参加していただき、誠にありがとうございました。

意見交換会のテーマは、全会場共通のテーマとして、「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」を設定したほか、各開催会場の地域が抱えている課題は何か、市民の皆さんが注目していることは何かを考え、会場ごとのテーマを設け、各会場2つのテーマで進行させていただきました。

当日は、4～5人のグループ編成によるワークショップ形式を基本に、テーマに沿って積極的に前向きな意見交換をしていただきました。

意見交換会実施後は、各常任委員会で意見集約をし、調査・検討等を経て議会活動に活かしてきた結果を、この度報告書としてまとめましたので、市民の皆様にご報告させていただきます。

当日実施しましたアンケート調査からは、意見交換会を継続するための課題がいくつか見えてきました。

今後は、実施日時の周知方法、若者・子育て世代が参加可能な開催日時、結果報告書の周知の方法等について、改善に向けた検討を重ねながら工夫を凝らし、多様な世代、特に子育て世代の方々、数多くの地域の皆様と意見交換を行い、皆様の声を政策提言につなげることにより、市民に開かれ信頼される議会、住みよい伊那市を目指すための市民の代表としての議会であるという機能を、果たしていきたいと考えております。

なお、「市民と議会との意見交換会」に関するご意見・ご要望等がございましたら、議員または市議会事務局まで、お申し出くださいますようお願い致します。過去5回の報告書も市役所・各支所・市図書館等に置いてありますので、是非ご覧いただければと思います。

令和5年2月

伊那議会議長 白鳥 敏明

目次

1	第6回市民と議会との意見交換会の概要	1
(1)	趣旨	1
(2)	開催日時、会場、内容及び参加者数	1
2	主な検討テーマについて	3
3	各会場参加者から出された意見	21
4	アンケート集計表	24

1 第6回市民と議会との意見交換会の概要

(1) 趣旨

市民に開かれた議会を目指した改革の一つとして、市民により身近で、透明性のある議会運営を行うこと、また市民の声の受け皿としてご意見をいただき、意見交換をする中で情報共有をすることが重要と考え、この「市民と議会との意見交換会」を開催しています。

市民の皆様の声をお聞きすることを主としたいという思いから、「意見交換会」の形式としています。単純な要望をお聞きするというよりも、市民の皆様との対話の中で生まれるものを大切にしたいと考えています。

伊那市議会全体として開催する会と位置づけ、資料の準備、会場設営、当日の運営などを議員が自ら行っています。

いただいた意見は、伊那市議会として調査、研究、検討を行い、必要に応じて市長部局への政策提言等の実施に結び付けていきます。

(2) 開催日時、会場、内容及び参加者数

※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら開催しました。

○令和4年9月28日（水） 19：00～21：00

伊那公民館 経済建設委員会担当

- ・コロナ過の教訓とこれからの伊那市
- ・地域住民とのつながり

懇談会形式

参加者数：5名

○令和4年10月4日（火） 19：00～21：00

伊那西小学校 社会委員会担当

- ・コロナ過の教訓とこれからの伊那市
- ・人口減少時代と地域の活性化について

ワークショップ形式

参加者数：16名

○令和4年10月5日（水） 19：00～21：00

伊那公民館 経済建設委員会担当

- ・コロナ過の教訓とこれからの伊那市
- ・国道153号バイパス開通後の地域づくりについて

懇談会形式

参加者数：6名

○令和4年10月11日（火）19：00～21：00

高遠町総合福祉センター「やますそ」 総務文教委員会担当

- ・コロナ過の教訓とこれからの伊那市
- ・防災対策について

ワークショップ形式

参加者数：32名

○令和4年10月17日（月）19：00～21：00

美篤公民館 社会委員会担当

- ・コロナ過の教訓とこれからの伊那市
- ・防災対策について

ワークショップ形式

参加者数：13名

○令和4年10月5日（水）19：00～21：00

西春近公民館 総務文教委員会担当

- ・コロナ過の教訓とこれからの伊那市
- ・地域住民とのつながり

ワークショップ形式

参加者数：16名

2 主な検討テーマについて

各会場で出された意見のうち、検討テーマとして取り上げたものは次のとおりです。

※各会場で出された意見は、21ページからを参照ください。

番号	検討テーマ	検討結果 ページ
1	コロナ禍の教訓とこれからの伊那市地区開催の会議・行事等の判断基準の明確化と発信について	4
2	伊那西部地区の人口減少による地域活性化について	5
3	地域のコミュニティの再構築について	7
4	防災対策について	8
5	コロナ下における子どもたちのフォロー	10
6	民生児童委員の確保について	12
7	遊具の設置について	13
8	伊那バイパス工事について (1) 通学路の安全対策 (2) 説明会を丁寧に開催 (3) 排水路の点検と排水状況の確認	14
9	コロナ禍での生活と経済について (1) 新しい「伊那まつり」の検討と開催 (2) 飲食店以外の業種への支援充実	17
10	公園の環境整備について (1) 伊那公園、榛原河川公園の駐車場拡張 (2) 旧清掃センター跡地に公園設置	19

	検討テーマ	担当委員会
1	コロナ禍の教訓とこれからの伊那市地区開催の会議・行事等の判断基準の明確化と発信について	総務文教委員会
市民から出された意見		
<p>新型コロナウイルス感染拡大により地域の活動が止まってしまった。活動の再開に向けて市として開催判断が出来る基準の明確化と発信を要望する。コロナと向き合いながら、再生の方向は伊那市らしく。</p> <p>① コロナ禍での生活・文化行事の再構築 ② コロナ禍での文化施設の開館基準の検討 ③ 行事の、やめる、やめないの過渡期になっている。今後の行事を考えるにあたっては、内容の簡素化（本当に楽しい行事を行う）も含め真剣に考えるべきではないか。</p>		
現状・市の対応（地域創造課・生涯学習課・文化交流課）		
<p>① 【地域創造課】 令和2年度に新型コロナウイルスが初めて感染拡大した時以降、区等へ会議や行事の開催について、県や市の基準に基づいて活動自粛等の依頼を行ってきました。この中で、総会等の開催を書面で行う場合の参考例を提示することで、各区等も工夫しながら実施しています。 今後の行事等についても、各区等で必要性を考慮しながら、地域の特色をいかして行われるものと考えています。 新型コロナウイルスの感染状況を見る中で、必要に応じて情報発信を行っていきたいと考えています。</p> <p>【生涯学習課】 昨年まではまん延防止期間中は施設を休館とし、講座や行事は中止や延期、自習室の閉鎖などを行ってきましたが、現在では国の方針に沿い、感染防止対策をとりながら日常での活動はほぼ通常に戻しています。</p> <p>② 【文化交流課・生涯学習課】 県の感染警戒レベルに応じた各施設ごとの使用基準を定め、公式ホームページで情報発信しています。国、県の感染症対応状況に応じて、使用基準の見直しも行っています。生涯学習課、文化交流課所管施設で統一的に対応しています。</p> <p>③ 【生涯学習課】 行事については、常にどのようなことが求められているのかは考え企画していますが、コロナ禍での中止や縮小の実績をふまえ、見直しを行っていきたいと考えています。</p>		
総務文教委員会での検討結果		
<p>基準については、国、県の基準に準じているため伊那市単独での基準設定は難しいと思われる。したがって、そのフォローとして、地区の区長会等に市の職員が出向き、最新情報の説明や区長等との意見交換を行う中で、市の方向性を示してほしい。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
2	伊那西部地区の人口減少による地域活性化について	総務文教委員会

市民から出された意見

- ①飲み屋街まで遠いので行きたくても帰りのタクシー代等を考えると難しい。夜の飲食店と市民をつなぐ地域活性化対策として、夜間シャトルバスの運行を検討できないか。
- ②後継者のいない農地が地域活性化の妨げになっている。また農振地域が多く人口減少につながっている。
- ③テレワーク、ワーケーションに適した地であること、良い環境で子育て出来ることをもっとPRしてほしい。

現状・市の対応（企画政策課・地域創造課・商工振興課・農政課・農業委員会）

①【企画政策課】

＜地域公共交通としての考え方・対応＞

地域公共交通は、路線運行又は区域運行として認可を受け、運賃を定めて乗合によって運行するものです。したがって、夜間に飲食店街と各地域を結ぶシャトルバスを地域公共交通として運行することはできません。

また、このようなシャトルバスは、既存のタクシー事業に多大な影響を及ぼすため、運行に当たっては関係する交通事業者との十分な調整が必要と考えます。

②【地域創造課】

空き家バンク登録物件に付属した農地については、農地取得等の基準緩和により、農業委員会が定める要件を満たした場合、取得が可能となっています。

実際に農地付き空き家を購入する移住者もいるため、空き家バンクへの登録物件数が増えることで、農地の有効活用にもつながると考えるため、引き続き空き家バンクへの登録を推進していきたいと考えます。

【農政課】

農業振興地域は土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を計画的に推進することを目的として設定されています。伊那市では、農業振興地域の整備に関する法律に基づき農業振興地域整備計画を策定（S49）し、農業振興を図っていく地域を農用地区域として設定し、優良農地の確保・保全に努めています。

しかし農業をめぐる情勢の変化や経済事情の変動等により土地利用も変化しているため、伊那市では1回目の総合見直しを令和元年に、令和3年度に2回目の総合見直しを行いました。見直しの内容としては、次の2点です。

①農業の聖地といえる一団の優良農地をしっかりと守っていくこと。

②雇用確保のための工業団地の拡張、人口増のための住宅誘導について、市が行う地域を農振計画にも明示すること。

農振農用地が虫食いに開発されている現状を踏まえ、市が、地域振興上必要性が高いと認められる施設を設置することのできる地域を設定することで、逆に後世に守り伝えていく優良な農地を守るとともに、人口増を含む地域振興のための農地の活用ができるよう取り組んでいます。

【農業委員会】

後継者のいない農地や後継者が遠方に生活拠点を置いている農地については、農地の管理が行われていない場合があり、耕作放棄地となることが多く苦慮しています。

農業委員会としても耕作放棄地の解消に向け農地パトロールを実施し現状の確認を行い、地域内で耕作が可能な農業者等と協議し耕作再開に向け調整を行っています。

経営者の高齢化が進んでおり、今後の世代交代についても検討をしていかなければならない時期を迎えてきていますので、引き続き、地域活性化につながる農地の有効利用を地域と連携しながら進めていきたいと考えます。

③【地域創造課】

近年、移住・定住を希望される方々からは、子育て・教育環境を求める相談が多く、特に、伊那小学校や伊那西小学校に対するニーズが高い状況であり、実際に移住される方も年々増加しています。

伊那西部地区においては、令和3年度に伊那西小学校区を構成する4区2常会を市が「田舎暮らしモデル地域」として指定し、地域の魅力発信や定住に関する補助等の支援を行っています。

また、地域としても、伊那西地区を考える会が中心となり、地元自治会や地域の皆さん、小学校と連携を図りながら、地域の活性化や移住・定住の促進に取り組んでいるほか、伊那西地区の専用ホームページを構築するなどし、広く地域の魅力を発信しているところ です。

【商工振興課】

テレワークやサテライトオフィスを誘致するための施設として、市では「伊那市サテライトオフィス」3棟と「all1a」、「ママ and」を開設しています。現在、この施設の貸しオフィススペースは全て入居となっています。市内の空き店舗や空き事務所等を活用することも考えられることから、市としてもサテライトオフィス等の開設費用の支援等有効な施策を検討していきます。また、専用ホームページを通して、施設の紹介、空き状況等について発信し、利用の促進を図っています。

総務文教委員会での検討結果

各課で取り組んでいる内容を、引き続き関係各課と連携して、確実に継続的に実施してほしい。また、関係地域にはその時々情報発信してもらいたい。

3	検討テーマ	処理担当委員会
	地域のコミュニティの再構築について	総務文教委員会
市民から出された意見		
<p>現在、移住定住施策の推進により県外からの転入者も増加しているが、一方では様々な価値観が認められる風潮や本人の考え方もあり、入区されない住民の増加が危惧されている。</p> <p>(1) 区への未加入者対策について</p> <p>①自治会へ加入しない理由と課題はなにか。</p> <p>②入区しないことに対して、市の考え方は。</p> <p>③移住・定住施策の中に入区を条件にしたらどうか。</p> <p>(2) 地区役員のみ手不足解消</p> <p>①コロナ禍によって地区の役員の見直しの要望が強い。行政としてこのタイミングで見直しを検討すべきではないか。</p>		
現状・市の対応（地域創造課）		
<p>(1) 区への未加入者対策について</p> <p>①入区費や区費が高額だが、区等の活動が見えにくくお金がどのように使われているかわからない、土・日に行事が多く行われるが働き方が多様となり参加できない、回覧物の配布や区費等の徴収等役員の仕事が多い、働く世代の年齢が上がってきており、仕事をしながら区等の役員を担うため負担が大きいといった声が寄せられています。自治会加入のメリットと役員負担の軽減が課題と考えます。</p> <p>②自治会に加入することは義務ではないため、強制はできません。しかし、災害等の際には、隣近所などのコミュニティでの活動が不可欠であり、お互いに協力することが必要です。隣同士で顔を合わせ、困ったことがあれば気軽に相談できる関係を築いていただくよう自治会加入を促進しています。</p> <p>③現在、過疎地域定住促進補助金、田舎暮らしモデル地域事業の各補助金及び令和5年度より始まる「いな住まい補助金」については、自治会に加入し、地域活動に参加することを交付の要件としています。また、移住相談窓口で相談を受ける際には、「地域の教科書」等を活用し自治会への加入を促進しているところです。</p> <p>(2) 地区役員のみ手不足解消</p> <p>①市から依頼している業務で負担となっているものが何か、アンケート調査や聞き取り等により実態調査を行い、負担軽減につなげられるよう考えていきます。</p>		
総務文教委員会での検討結果		
<p>未加入者対策については、引き続き、地域と連携を取りながら取り組んでほしい。</p> <p>入区費については安くする、取らないようにする等、区へ検討するように働きかけると、また、区への加入については促進の働きかけ等を行うことをお願いしたい。</p> <p>地区役員については、区長会等で意見を聞いた上で整理をし、負担軽減に向けて検討してほしい。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
4	防災対策について	総務文教委員会
市民から出された意見		
<p>各地区、地域にあった避難所及び避難経路の見直しと住民への周知徹底をしてほしい。</p> <p>①今年度の伊那市総合防災訓練が中止となったが、コロナ禍での防災訓練のあり方を検討すべきではないか。</p> <p>②ダム、堤防が決壊したときのシミュレーションを映像等で示すことはできないか。</p> <p>③公民館が避難所になったときのマニュアルがないので誰でもが分かるように作ってほしい。</p> <p>④三峰川の草木をどうにかしてほしい。またしゅんせつ工事を国に働きかけてもらいたい。</p> <p>⑤防災行政無線が聞こえない。高遠地区の防災ラジオはケーブルテレビが入っていないと聞けない。</p> <p>⑥高遠第2、第3保育園が避難所として機能できるよう体制作りをお願いしたい。</p> <p>⑦防災倉庫の場所が周知されていないのでもう一度徹底してほしい。</p> <p>⑧災害時、消防団が出動しても勤め先との関係で公休にならない職場がある。市から要請してもらうことは出来ないか。</p>		
現状・市の対応（危機管理課、建設課、子育て支援課）		
<p>危機管理課では、市内の各地区に合った取り組み（行動計画）の支援をしていますので、適切な避難行動や避難場所の確認等を、地区の皆様と一緒に検討してまいります。</p> <p>①各地区から同様のお問合せをいただいたことから、令和2年6月12日に、コロナ禍における訓練事例について通知しており、密の程度や参加者数に応じた訓練内容をお示しし、感染症流行期でも地域防災活動が実施できるよう支援をしております。</p> <p>②国交省においても、ダム決壊についてのシミュレーション・対応等はすぐにはできないと思われます。ダムは、大雨で、突然決壊する訳ではありませんので、市では、計画づくりを希望する地区と一緒に、リスクの高まりに応じて安全確保の行動ができる体制づくりを進めています。美篤地区や東春近地区では、台風19号の後、「地域タイムライン」を作成しております。</p> <p>③公民館や地区集会所は、緊急的な避難場所として活用されます。公民館や地区集会所の開設・運営は地域の住民の皆様が行いますので、「避難場所開設キット」という対応マニュアルを作成（内容等について数地区でモニタリング中）しておりますので、そちらを利用していただけると準備しております。</p> <p>④【建設課】 三峰川については長谷の黒川合流点を境に上流を長野県伊那建設事務所、下流を国土交通省天竜川上流河川事務所が維持管理を行っており、定期的な河川断面の測量や河川パトロール等により危険箇所の把握に努めていただいています。近年は国の国土強靱化の緊急対策により、天竜川との合流付近等で大規模な河川内樹木の伐採やしゅんせつ</p>		

を行っていただきました。今後も、流下能力が低いなどの優先度の高い箇所から、計画的に実施していく予定と聞いています。

市としても、近年頻発する大型台風や突発的な豪雨等に対して、市民が安全に安心して生活ができるよう、引き続き関係機関へ要望や働きかけを行っていきます。

⑤防災行政無線は雨・風の際は大変聞きにくくなります。屋内では防災ラジオを活用いただけますが、伊那ケーブルテレビの光回線を使用し放送していることから、伊那ケーブルテレビへの加入が必要となります。一方で、現在は生活スタイルが多様化し、常に自宅や地域にいるとは限らないため、同じ情報が流れる安心安全メールやツイッター、ヤフー防災アプリなど、複数の手段で情報を確認していただくようお願いします。

⑥【子育て支援課】 保育園は、災害復旧などの際には災害復旧にかかわる保護者のお子さんを預かる等の社会を維持するための施設となりますので、小中学校施設とは異なり、基本的に避難所として位置づけることは考えておりませんが、高遠第2・第3保育園は伊那市地域防災計画では指定緊急避難場所として位置付けられています。

今後、緊急避難場所としての機能を視野に入れながら建て直しに反映していきたいと思えます。

⑦ 防災倉庫は、全小中学校に設置しております。その他、水防倉庫（水防資機材を保管）がありますので、ご案内します。

⑧ 消防団員が勤務中に出勤した場合の休暇等の扱いについては各事業所等の判断であり、また、その考え方や取扱いは様々であるため市から対応について要請することは難しい状況です。市では県と連携して消防団の活動に対し積極的に協力していただける事業所等を「消防団協力事業所」として認定し、減税や入札参加資格での優遇などを行い、消防団が活動しやすい環境整備に努めています。

総務文教委員会での検討結果

防災行政無線が聞きとりにくい地域の市民には、危機管理課へ連絡するよう周知してほしい。

消防団活動による休暇等の取扱いについては、伊那市内だけではなく近隣の市町村事業所にも公休等になるように要請してほしい（消防団員の勤務先が伊那市以外の人も多いため）。

5	検討テーマ	担当委員会
	コロナ下における子どもたちのフォロー	社会委員会
市民から出された意見		
<p>保育園や幼稚園、小学校でのさまざまな行事や、これまであたりまえに行ってきた日常生活がコロナにより多くの制限を受けることとなった。</p> <p>子どもたちが成長過程で年齢に応じて経験しておくべき事柄が、経験できない事態が起こっている。今後その子どもたちにどのような影響が出ると考えるか。また、どのようにフォローしていくか。</p>		
現状・市の対応（学校教育課・子育て支援課）		
<p>【学校教育課】</p> <p>伊那市教育委員会では、このコロナ禍にあって、「学びを止めない」「給食を止めない」ことを本年度の基本的方針に据えています。これを踏まえ、市内各校の教職員は、誠心誠意、児童生徒の学力と生活の保障のために尽くしてきているところです。</p> <p>学習の面では、感染拡大により学級閉鎖等となった場合でも、ICT 活用による同時双方向型のオンライン学習がどの学校でも定着してきており、学習面における丁寧な見守りを行ってきています。</p> <p>また、行事や学校活動の面では、行事等を安易に中止とするのではなく、コロナ禍でもできるスタイル（時間、場所等の変更）に変え、その行事等の目的を実現できるよう、各校において工夫し、実施してきています。</p> <p>しかしながら、このコロナ禍にあって、やや不安定な状態となる児童生徒も見られます。従前からスクールカウンセラーや子どもと親の相談員等を各校に配置して、子どもや保護者の相談に応じてきているところですが、今後も安心して相談できる機会を増やして、気持ちの安定を図るとともに、一人ひとりの悩みに応えられるよう学校相談体制がさらに機能していくよう、その充実を図りながら、安定した学習や各種行事の実施に努めていきます。</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>保育園や幼稚園では、高齢者や保護者等との異年齢の交流行事の多くが中止となっていますが、運動会や音楽会、卒園式などのかけがえのない行事は、開催方式の検討や規模縮小をしながらできる限り実施しています。</p> <p>子どもたちが成長過程で年齢に応じて経験しておくべき事柄としては、食事やしつけ等の生活習慣のほか、集団生活でのかかわり、地域、高齢者、小中学生等の異年齢とのふれあい等があげられ、必要な経験を得られないことのないように工夫しながら取り組んでいる状況です。</p> <p>特に異年齢との交流の実施が難しい状況にありますが、伊那市では自然保育を推進しており、屋外活動を中心に感染リスクを低減しながら、できる限り実施していく予定です。</p>		

社会委員会での検討結果

コロナ禍という非常に難しい状況の中で、子育てや教育に関わる方々の努力は非常に大きなものであり、感謝をしている。

「学びを止めない」「給食を止めない」という基本方針のもとに ICT を活用しつつ、子どもたちに寄り添った対応をしていただいているものと思う。不安定な状態になる児童生徒も見られるということで、よりきめ細やかな対応、また、今後も引き続き、県や国と連携しながら情報を集めていただきたい。

	検討テーマ	担当委員会
6	民生児童委員の確保について	社会委員会
市民から出された意見		
<p>民生児童委員のなり手が見つからず苦慮している。各地区で候補者を選定するのは非常に難しい。行政としてなにか手立てはないか。</p>		
現状・市の対応（社会福祉課）		
<p>本年度は民生・児童委員の一斉改選の年であり、推薦を依頼した各地区には大変なご苦勞をいただきました。各地区において担い手不足は大きな課題となっています。</p> <p>伊那市の本年度一斉改選における再任委員の割合は、再任率 31.3%（53/169 人）にとどまり、新任の率は 68.6%です。今回選任された委員の最高齢は 79 歳、委員の平均年齢は 68.0 歳で高齢化が進んでいます。</p> <p>担い手不足の問題は、特に高齢化率の高い中山間地区においては顕著にその傾向がみられ、高齢でありながら広範囲に見守りや訪問などの移動を伴う委員活動を行うことに不安と負担を感じることは理解できるところであります。</p> <p>しかしながら、民生・児童委員の良い点は、相談者自身が住んでいる地区の知った顔の人であるからこそ、双方が信頼し合って相談できることであると言え、外部の人では深い部分まで話していただけないことも多いと考えます。</p> <p>地域に根ざし活動している民生・児童委員の役割には大きな期待が寄せられている反面、その重責や業務量の多さ、民生・児童委員という肩書のもと、会議、大会等への参加依頼、地域での募金の集金活動など、本来の業務以外のことに時間を割かなくてはならないことに対しての負担や不満を感じている委員が多く、こうしたことが担い手不足を引き起こしている大きな要因であると考えられます。</p> <p>委員の担い手不足解消に向けては、民生委員が本来の職務・活動に取り組めるよう、民生委員という肩書による行事や会議等への参加依頼の自粛や地域役員の充て職に対する配慮、配布物の厳選や効率化など、関係部署や地元区等に通知等を発出し、業務の見直しや整理を行うよう継続的に呼びかけていきます。</p> <p>また委員自身がすべてを背負うのではなく、相談内容に応じて市の関係部署や関係機関等へのつなぎ役であるのご理解いただき、行政や社協などができる限りのサポートをしながら負担の軽減や広報等を通じたイメージアップに努め、地区からの委員候補者の選出をしやすくする環境につなげていきたいと考えます。</p>		
社会委員会での検討結果		
<p>今後、民生・児童委員の必要性はますます高くなる。様々な行事への出席を見直し、充て職について配慮するなど、なり手不足の解消に一定の効果はあるものと思われるが、根本的な解決にはならない。</p> <p>当委員会として、この課題については引き続き関係者の意見等を聞きながら研究したい。</p>		

7	検討テーマ	担当委員会
	遊具の設置について	社会委員会
市民から出された意見		
<p>子どもの遊び場が少なすぎる。また、遊具で遊べる公園も少ないので、整備をしてほしい。</p> <p>春日公園、鳩吹等、大型遊具のある大きな公園だけでなく、遊具で遊べる公園が地域にほしい。</p>		
現状・市の対応（都市整備課・子育て支援課）		
<p>伊那市で遊具を設置している公園は、春日公園など都市公園で6か所ある他に、ナイスロード沿いなど小公園が9か所、地元区が管理する児童遊園地が51か所あります。</p> <p>地区の児童遊園地は、各地区で維持管理は行っていますが、少子化の昨今、新設・増設はここ数年無い状況です。子どもたちの身近にある地区の児童遊園地をぜひ活用いただきたいところです。</p> <p>都市公園については、ホームページや子育てガイドブックなどで広報していますが、まだ十分に認識されていないことから、今後も庁内で連携し、あらゆる媒体を活用して広報に努めます。</p>		
社会委員会での検討結果		
<p>都市公園が6か所、小公園が9か所、児童遊園地が51か所と、数だけ見ると非常に充実しているように見えるが、子育て世代からの「公園が足りない」という意見は常に耳にする。このギャップをどう考えるか、行政には真剣に考えてもらいたい。</p> <p>一目でわかるような公園の分布図の作成や、公園を必要とするさまざまな世代へのニーズ調査など検討をしてほしい。</p> <p>また、雨天時でも利用することができる全天候型の屋内施設についても、多くの希望があるため、併せて検討願いたい。</p> <p>当委員会としても、引き続き研究課題としていく。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
8 (1)	伊那バイパス工事について (1) 通学路の安全対策	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>バイパス工事は、通学路がわかりずらくなっている。工事車両が多く自転車通学など通学が心配である。子どもたちの安全面を大切にしてほしい。大人の都合、大人の目線で計画されて施行されていないか点検をしてほしい。</p>		
現状・市の対応(学校教育課・生活環境課・建設課)		
<p>伊那バイパスの工事が通学路に影響する際は、事前に地元住民や学校等へ説明するよう事業主体の伊那建設事務所へお願いしています。地元や学校等からのご意見・ご要望には対応いただいているところではありますが、工事の進捗状況により新たな要望等もあるため、その都度、伊那建設事務所へ内容を伝え対策をお願いしています。</p> <p>例年、道路管理者、伊那警察署、小中学校、PTA及び教育委員会等、関係機関で組織する「伊那市通学路安全推進会議」による合同点検を実施し、子どもたちの安全が確保されている道路であるかどうかを検証しています。</p> <p>今後も、伊那バイパス工事については、大型工事車両の往来や通学ルートの変更、迂回などがしばらく続くことになるため、通学路が安全に通行できるよう子ども目線にたった安全対策をとっていただくよう、伊那建設事務所へ要望していきます。</p>		
経済建設委員会での検討結果		
<p>伊那建設事務所への要望を適切に継続すること。 休日についての措置について特に配慮してほしい。 市役所への相談窓口は一本化されていると思うが(建設課国県事業対策係)わかりやすく周知してほしい。 児童生徒の通学路に関する困りごと等について、学校が情報を得ることが多いと考えられるので、学校とも連携して対応してほしい。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
8 (2)	伊那バイパス工事について (2) 説明会を丁寧に開催	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>実施計画の見通しを説明するよう働きかけてほしい。学校や地域の意見をくみ取ってもらい、可能な限り反映させてほしい。</p>		
現状・市の対応（建設課）		
<p>現在、伊那バイパスは、長野県伊那建設事務所により若宮から美篤青島までの区間で事業が進められていますが、バイパス沿線の地区や関係機関等から多くの要望をいただいております、設計の見直し等に時間を要しています。</p> <p>いただいた要望が出来る限り反映されるよう、市としても伊那建設事務所へお願いしているところです。</p> <p>設計が整ったところで、関係者等への説明を行っていくこととなります。地元地区や関係者等への丁寧な説明や対応を、伊那建設事務所へお願いしていきます。</p>		
経済建設委員会での検討結果		
<p>引き続き適切に地元住民との情報交換等をしっかり行ってほしい。</p>		

8	検討テーマ	担当委員会
(3)	伊那バイパス工事について (3) 排水路の点検と排水状況の確認	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>①全国でも水路事故が多い。多くの雨量があった場合チェックが必要。とても危険な箇所がある。</p> <p>②上牧と野底の段丘、上からの排水をしっかりと考えてほしい。</p>		
現状・市の対応（建設課）		
<p>①②</p> <p>伊那バイパスの道路排水の排水先・排水方法については、事業主体の長野県伊那建設事務所から、「現在、道路排水計画の策定を進めているところ。」と聞いています。</p> <p>排水先や排水方法等を心配する声があることは市としても承知しており、排水の状況を伝える中で早急に計画を示していただくよう伊那建設事務所をお願いしています。</p> <p>今後、準備が整ったところで関係者や地区住民等へ説明を行っていくこととなりますが、地域にとって安全・安心な道路排水計画となるよう地元と一緒にしながら、県と協議してまいりたいと考えます。</p>		
経済建設委員会での検討結果		
盛り土周辺の排水が危惧されるので、特に注視してほしい。		

	検討テーマ	担当委員会
9 (1)	コロナ禍での生活と経済について (1) 新しい「伊那まつり」の検討と開催	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>伊那まつりは早期に中止になり、商工会議所青年部が中心になり「みなまつり」を開催した。伝統の竜の舞、子どものダンス発表、屋台も並び、多くの人が集まった。今後へ大切なイベントになった。この機会に、新たな「伊那まつり」のあり方を検討し、市民の意見を反映した祭りを開催してほしい。</p>		
現状・市の対応（観光課）		
<p>新たな「伊那まつり」のあり方については、現在、事務局会議で話し合いを重ね、年度内に伊那まつり実行委員会に提案する予定としています。</p> <p>話し合いの中で、伊那まつりの再開にあたっては、次の点を確認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の市に依存する運営形態から市民や各団体が自ら賑わいづくりに参画するまつりを目指すこと ・コロナ禍で中止を重ねた現状から実施可能な規模での開催から再開すること ・意思決定の迅速化や臨機応変な対応ができる実施体制を整えること ・3年計画で新たな伊那まつりを確立すること ・市民おどりを核とした日程をデザインすること 		
経済建設委員会での検討結果		
<p>伊那まつりを実施することを前提に、来年度からの祭りのやり方を工夫しながら開催してほしい。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
9 (2)	コロナ禍での生活と経済について (2) 飲食店以外の業種への支援充実	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>特定業種、特に飲食店への支援は厚いものがあつた。飲食店以外への支援の充実を。</p>		
現状・市の対応（商工振興課）		
<p>市では、コロナで大きな影響を受ける事業者を対象に支援を行ってきました。</p> <p>当初は、緊急事態宣言などによる行動制限で影響を受けた飲食業などの業種に支援が集中することがあつたかもしれませんが、コロナが長引く中で、様々な業種への支援を実施してきました。</p> <p>長期化するコロナ禍の中で、物価高騰も重なり、事業者にとって大きな負担となっています。令和4年11月からは新たに全業種を対象として「電気高騰対応中小事業者応援金」を開始しました。</p> <p>今後はウィズコロナ、アフターコロナに向けて、国や県の支援策も参考にして事業者が行う取り組みに対する支援なども検討できればと考えています。</p>		
経済建設委員会での検討結果		
<p>各種補助金等の制度を市は実施してきているが、事業者の事業転換などへの支援についても工夫してほしい。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
10 (1)	公園の環境整備について (1) 伊那公園、榛原河川公園の駐車場拡張	経済建設委員会
市民から出された意見		
伊那公園や榛原河川公園など、公園の駐車場が狭い。多くの市民が使いやすいよう駐車スペースを増やせないものか。		
現状・市の対応（都市整備課）		
<p>都市公園の駐車場は、スポーツ施設で中体連や高体連などの大規模な大会が開催されると、年に数日程度、一時的に不足する状況となりますが、その他の土日には混雑がみられるものの、平日は閑散としていることから、現時点で、増設は考えていません。</p> <p>また、都市公園に設置できる駐車場などの共用施設については、都市公園法による設置基準があり、いずれの公園もこの基準に適合する広さとしています。</p> <p>なお、スポーツ施設での大会開催などにより駐車場が不足することが考えられる場合には、主催者に対して、大型バスの駐車を他公園の駐車場へ誘導するなどの対応を行っています。</p>		
経済建設委員会での検討結果		
<p>特に伊那公園について、スポーツ大会が開催される際は、公園利用者の駐車を妨げることのないよう主催者へ協力をお願いするなど配慮してほしい。</p> <p>榛原公園近くの堤防上の路上駐車は危険性があるので、河川敷の駐車場等についても検討してほしい。</p>		

	検討テーマ	担当委員会
10 (2)	公園の環境整備について (2) 旧清掃センター跡地に公園設置	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>子どもの遊び場がなさ過ぎる。家族で遊べる公園が少ない。旧清掃センターの跡地を子どもの遊べるスペースにしてほしい。</p>		
現状・市の対応（スポーツ課・都市整備課）		
<p>旧伊那中央清掃センターの跡地利用については、隣接する美原公園の敷地も活用しながら、平時は屋内体育施設及び公園として利用し、災害時には防災拠点となる施設整備を計画しています。現在、地形測量が終わり、施設の規模や配置計画、建設スケジュールなど、計画を具体化するための基本構想の策定を進めています。ある程度の素案ができたところで、議会にも計画をお示ししたいと考えています。</p>		
経済建設委員会での検討結果		
<p>旧清掃センター関係区だけでなく、前原、上の原、仙美など周辺地区の住民の意見を聴く機会を作ってほしい。</p>		

3 各会場参加者から出された意見

開催日	会場	テーマ
令和4年 9月28日(水)	伊那公民館	共通テーマ「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」 会場テーマ「地域住民とのつながり」
<p>《テーマ：コロナ禍の教訓とこれからの伊那市》 《テーマ：地域住民とのつながり》</p> <p>▽地域のつながりづくりのために、生活や文化行事の再構築をしていく時期ではないか。</p> <p>▽コロナ禍でも実施できる防災訓練の検討が必要</p> <p>子どもたちの行事が縮小しており、経験できないことがあり残念。子どもが犠牲になっている。</p> <p>▽文化施設の開館基準の検討が必要ではないか。</p> <p>▽開催することを前提に、新しい「伊那まつり」を早期に検討してほしい。</p> <p>▽コミュニティの再構築のために、行事の再開を工夫することで、後につなげていきたい。</p> <p>▽プレミアム商品券の第5弾を実施してほしい。</p> <p>▽「市民と議会との意見交換会」のあり方を検討してもらいたい。</p>		

開催日	会場	テーマ
令和4年 10月4日(火)	伊那西小学校	共通テーマ「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」 会場テーマ「人口減少時代と地域の活性化について」
<p>《テーマ：コロナ禍の教訓とこれからの伊那市》</p> <p>▽子どもたちが成長過程で年齢に応じて経験しておくべき事柄について、コロナ禍で経験出来なかった。今後その子どもたちをどのようにフォローしていくか。</p> <p>▽コロナの影響で、孤立化やインドア傾向になった子どもたちへの、気力体力回復と交流復活のための施策や、スポーツイベントなどの対策が必要である。</p> <p>▽特定業種、特に飲食店への支援は厚いものがあつた。飲食店以外への支援の充実が必要。</p> <p>▽雇用が減り、職を失う人が増えた。事業継続のための補助金は数多く用意されたが、廃業した人のフォローができていないか。</p> <p>《テーマ：人口減少時代と地域の活性化について》</p> <p>▽後継者のない農地が地域活性化の妨げになっている。農振地域が多く人口減少につながっている。</p> <p>▽テレワーク、ワーケーションに適していること、良い環境で子育てできることをPRしてほしい。</p> <p>▽夜の飲食店と市民をつなぐ地域活性化対策として、夜間シャトルバスがあるとありがたい。</p>		

開催日	会場	テーマ
令和4年 10月5日(水)	伊那公民館	共通テーマ「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」 会場テーマ「国道153号バイパス開通後の地域づくりについて」
<p>《テーマ：コロナ禍の教訓とこれからの伊那市》</p> <p>▽多くの個人事業主が良い店を廃業してしまった。 ▽コロナ禍で人の心がすさんでいる。 ▽民生児童委員のなり手不足 ▽入区が減少している。 ▽区の行事開催中止も工夫しながら開催</p> <p>《テーマ：国道153号バイパス開通後の地域づくりについて》</p> <p>▽通学路の安全対策を早急に行ってほしい。 ▽説明会を丁寧で開催し、要望を聞いてほしい。 ▽バイパスによる地域分断、立ち退きの問題 ▽開通による転入増の入区対策 ▽自治会の運営維持のために、他区の好事例を共有することが良いのではないか。 ▽伊那公園、榛原河川公園の駐車場拡張をしてほしい。 ▽排水路の点検と、段丘からの排水状況の確認を行ってほしい。 ▽子どもが遊べる遊具が足りない。旧伊那清掃センター跡地に遊具のある公園を設置できないか。 ▽高校再編は、地域力発揮と特色ある教育を実践するチャンスである。高校生に地域愛を育んでもらいたい。市にも尽力してほしい。</p>		

開催日	会場	テーマ
令和4年 10月11日(水)	高遠町総合福祉 センターやますそ	共通テーマ「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」 会場テーマ「防災対策について」
<p>《テーマ：コロナ禍の教訓とこれからの伊那市》</p> <p>▽新型コロナウイルス感染拡大により地域の活動が止まったままになっている。地域のコミュニケーションを取る機会の減少により地域に元気がない。 ▽経済回復のため個人が行動しやすいような行政発信をしてもらいたい。 ▽民泊の多くが3年間のコロナ禍で廃業せざるを得ない状況であり、支援をお願いしたい。 ▽コロナ対策を取っていればイベント等の開催はあっても良いのではないか。</p> <p>《テーマ：防災対策について》</p> <p>▽各地区、地域に合った避難所及び避難経路の見直しと住民への徹底をしてほしい。特に藤沢地区、長藤地区の住民の不安は強い。 ▽屋外の防災行政無線が聞き取りにくい、対策をお願いしたい。 ▽避難所に情報機器が整備されていないが、整備する必要があるのではないか。 ▽防災倉庫の配置が高遠地区は少ないのではないか。 ▽高遠小学校は避難所として本当に安全なのか、もう一度検討すべきではないか。</p>		

開催日	会場	テーマ
令和4年 10月17日（月）	美篤公民館	共通テーマ「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」 会場テーマ「防災対策について」
<p>《テーマ：コロナ禍の教訓とこれからの伊那市》</p> <p>▽行事を、やめる、やめないの過渡期になった。今後の行事を考えるにあたっては、本当に楽しい行事をやるなど、内容の簡素化も含め真剣に考えるべきではないか。</p> <p>▽役員の負担軽減のために、やらなくてもいいことは減らし、人とのふれあいは残す。</p> <p>《テーマ：防災対策について》</p> <p>▽ダム、堤防が決壊した時のシミュレーションを示してほしい。</p> <p>▽三峰川の草木をどうにかしてほしい。</p> <p>▽公民館が避難所になったときのマニュアルがないので、誰もが分かるように作ってほしい。</p> <p>▽区によって避難の方法が異なるので、地区ごと検討する必要がある。</p> <p>▽自主防災組織と、消防団・民生児童委員・社協との情報交換を密にしてほしい。</p>		

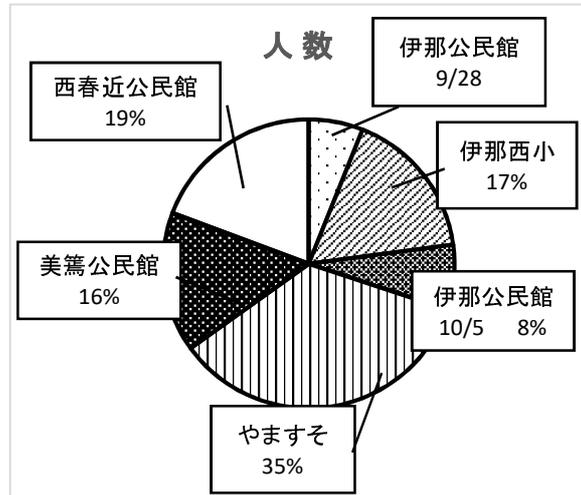
開催日	会場	テーマ
令和4年 10月17日（月）	西春近公民館	共通テーマ「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」 会場テーマ「地域住民とのつながり」
<p>《共通テーマ》</p> <p>▽会議の開催、各地区の行事等の可否判断は区長や行事の開催責任者に委ねられ、戸惑う中でリスクを避け安全最優先を考えて、中止の方向にもっていくことを選択せざるを得ない状況である。</p> <p>▽コロナ禍で行事を行う可否判断基準を市として明確にしてほしい。区長判断に委ねるだけでは無理がある。</p> <p>▽コロナと付き合いながら、再生の方向は伊那らしくしてもらいたい。</p> <p>《各会場テーマ：地域住民とのつながりについて》</p> <p>▽伊那まつり中止の影響が大きく、3年前の各種祭りのやり方が分からなくなった。そうした中で今年実施した西春近諏訪形御柱祭は盛会であった。改めて祭りの必要性を感じた。</p> <p>▽地域づくりの一環として子どもから高齢者までの防災訓練の一体化を検討したらどうか。</p> <p>▽コロナ禍であっても可能な限り世代間の交流機会を増やす行事等の企画をすべきではないか。</p>		

4 アンケート集計表

意見交換会参加人数: 83人
 アンケート回答人数: 83人
 (回答率: 100%)

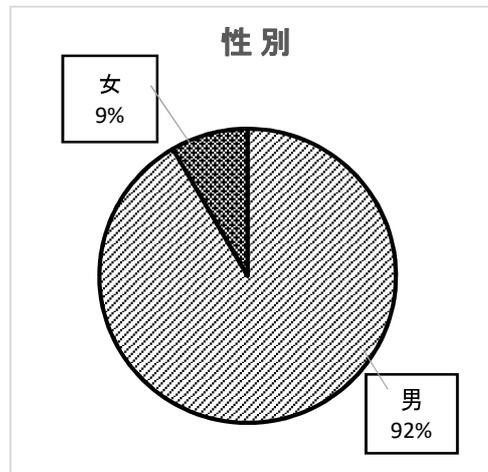
参加会場

	人数	割合
伊那公民館9/28	5	6%
伊那西小	14	16%
伊那公民館10/5	6	7%
やますそ	29	33%
美篤公民館	13	15%
西春近公民館	16	18%

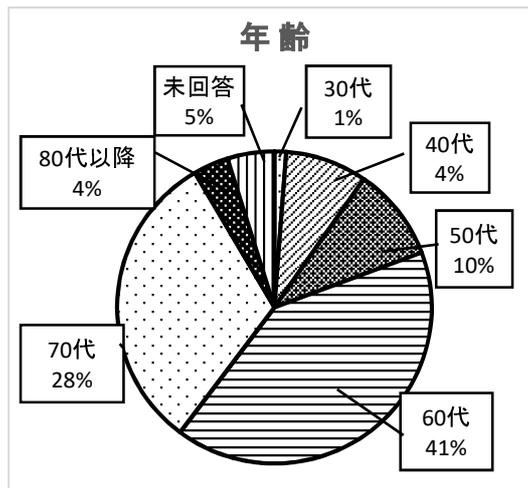


性別

	人数	割合
男	76	92%
女	7	8%



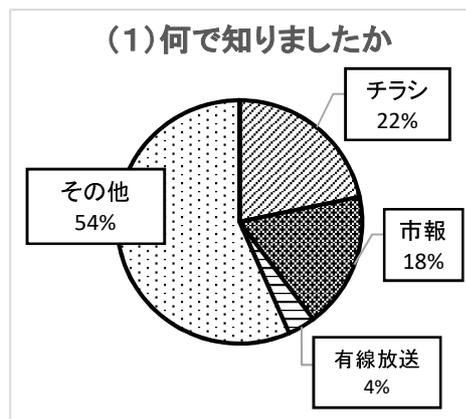
年齢	人数	割合
10代	0	0%
20代	0	0%
30代	1	1%
40代	7	8%
50代	8	10%
60代	34	41%
70代	26	28%
80代以降	3	4%
未回答	4	5%



1 市民と議会との意見交換会について

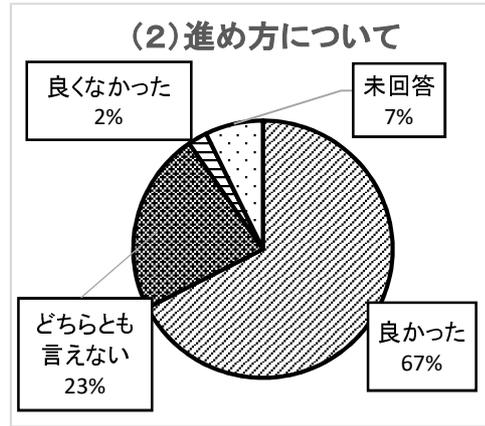
(1)この意見交換会を何で知りましたか

	人数	割合
チラシ	18	22%
市報	15	18%
有線放送	3	4%
ケーブルテレビ	0	0%
その他	47	57%
未回答	0	0%

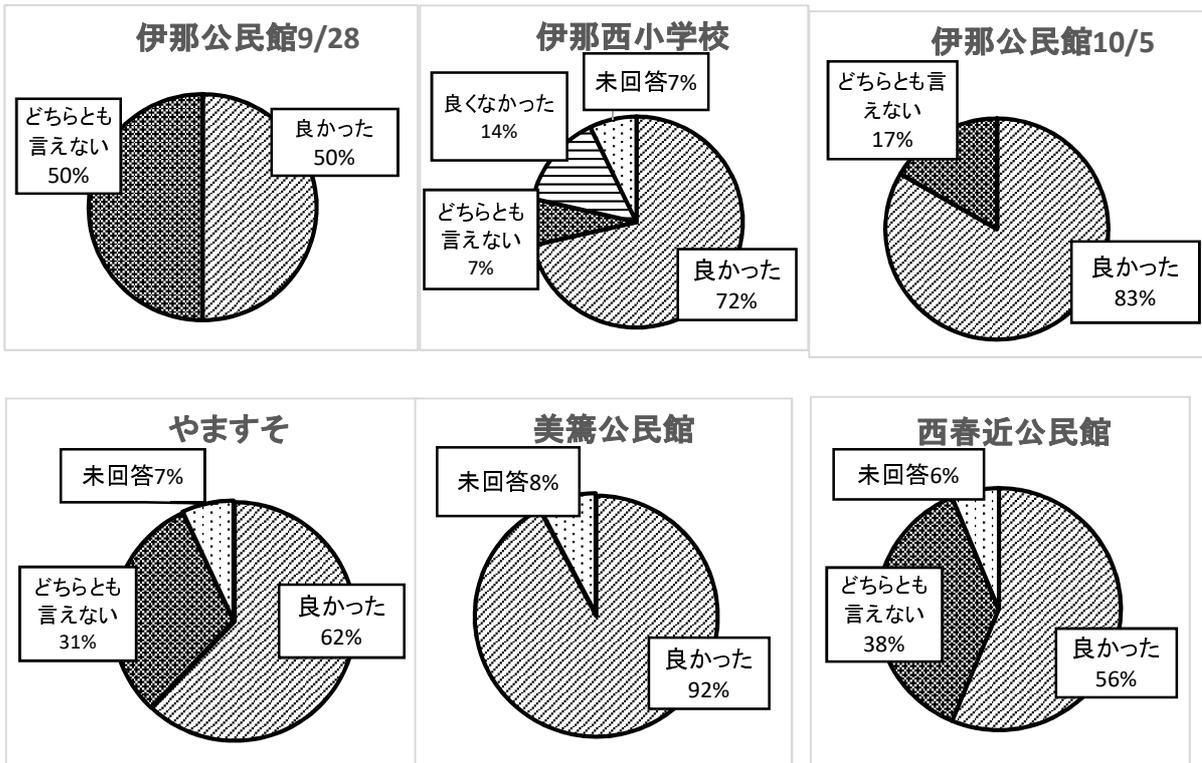


(2)意見交換会の進め方(ワークショップ形式)について

	人数	割合
良かった	56	67%
どちらとも言えない	19	23%
良くなかった	2	2%
未回答	6	7%



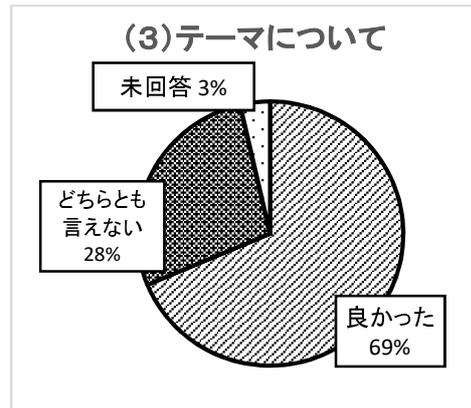
<会場別>



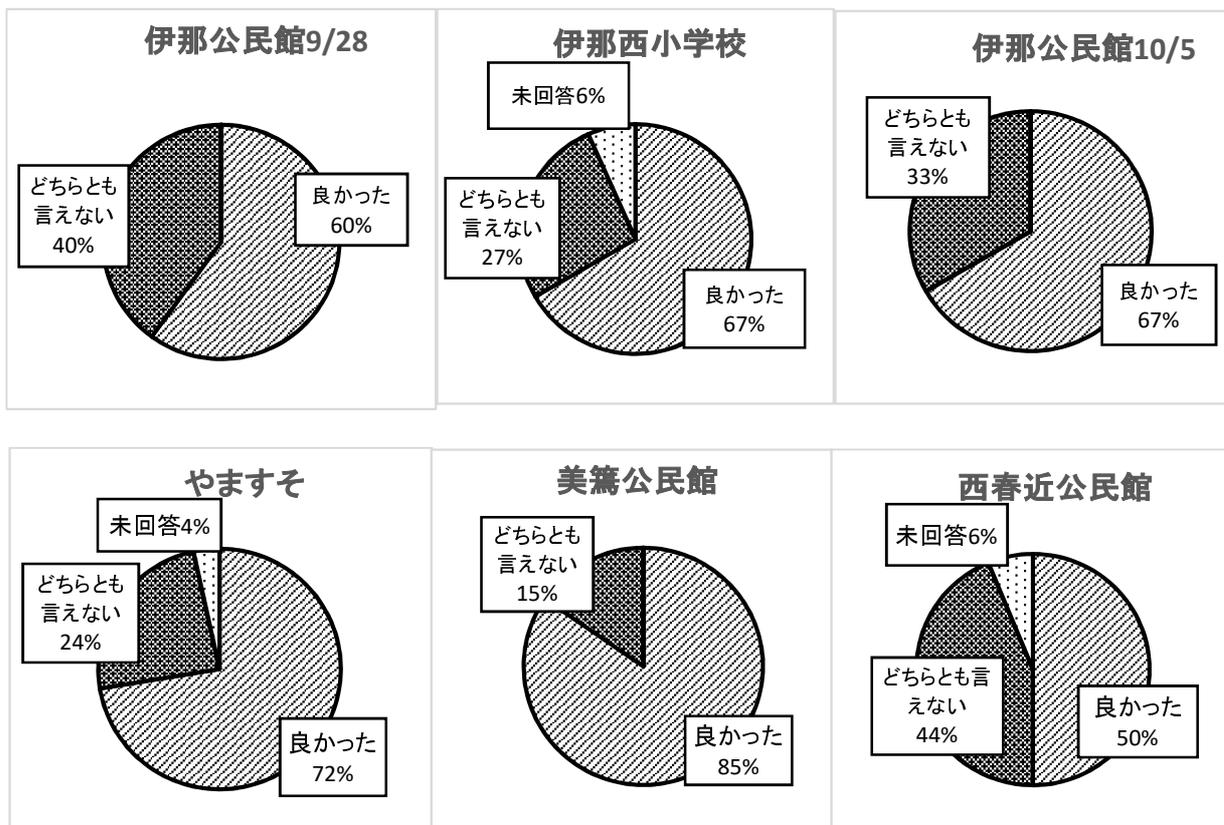
- ・ いろいろな意見や話が聞けた(6)
- ・ 意見交換しやすい雰囲気を作っていた(2)
- ・ 全員が発言できる進め方がよかった(3)
- ・ 幅広い意見が出た
- ・ 各自好き勝手に話せてよかった
- ・ 多くの有効な意見を聞くことが出来た
- ・ 笑いがありながらできてよかった
- ・ 言いたい意見を言わせてもらった
- ・ テーマがあってよかった
- ・ 区長間のコミュニケーションができた
- ・ グループ分けがよい
- ・ 初対面の方とコミュニケーションがとれた
- ・ ワークショップの意見をどう生かすか
- ・ 意見のまとめはデジタル化を取り入れて
- ・ 論点を明確にして進めていただいた
- ・ 全員の意見が出やすい形(カードに記入して発表)
- ・ 情報の共有
- ・ 進行の仕方はよかった
- ・ 進行役がいて助かった
- ・ 2時間で2課題は多い
- ・ 地域の問題点を話し合う
- ・ テーマが示されそれに添って進めていた点
- ・ 議員さんと話しができていない

(3)意見交換会のテーマについて

	人数	割合
良かった	57	69%
どちらとも言えない	23	28%
良くなかった	0	0%
未回答	3	4%



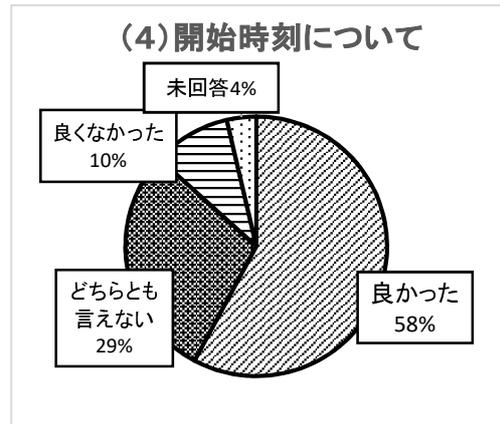
<会場別>



- ・ とても多くの意見が出た(2)
- ・ 身近なテーマだった(2)
- ・ まさにこの地域のこと
- ・ コロナはまだ続いている
- ・ 普段聞けないことが聞けた
- ・ 今後必ず必要となるテーマ
- ・ 防災について
- ・ 今直面する問題であるから
- ・ 各地区の問題点がわかった
- ・ 意見を出す切り口としてよかった
- ・ コロナ禍でも工夫があること
- ・ 他地区の防災訓練のアイデアが聞けた
- ・ 消防に関する意見を述べることができた
- ・ テーマを絞り込まないほうがいい。153は開通どころか現在進行中
- ・ 議会が何をテーマに意見を求めているのか曖昧。テーマに意思がないので出る意見もそれなり
- ・ 子育て支援などのこともやってほしい
- ・ 美篤では防災について研究しているのでベストタイミング
- ・ 脅威を機会に変えることが見える事
- ・ コロナ禍の後の区、市の業務の進め方の改善について
- ・ 共通テーマは多くの示唆に富むものだった
- ・ 全員で話し合うことが出来た
- ・ 各個人に意見を聞いていくこと
- ・ コロナが話の中心になる状況・現状
- ・ 地域で掲げている問題に合っていた
- ・ 153バイパスについては広域で考える旨を伝えられた
- ・ 少し難しかったが他の人の意見が聞けて良かった

(4)意見交換会の開始時刻について

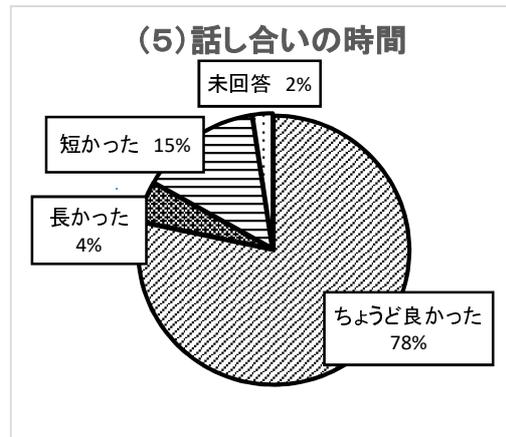
	人数	割合
良かった	48	58%
どちらとも言えない	24	29%
良くなかった	8	10%
未回答	3	4%



- ・ 少し遅い、もう少し早く(3)
- ・ 18:30頃がよい(5)
- ・ 18時ころがよい
- ・ 休日がよい
- ・ それぞれの方に合わせて複数回やる
- ・ 良い意見を求めるなら昼間。残業時間帯は疲れていて良い考えがでない

(5)意見交換会の話し合いの時間について

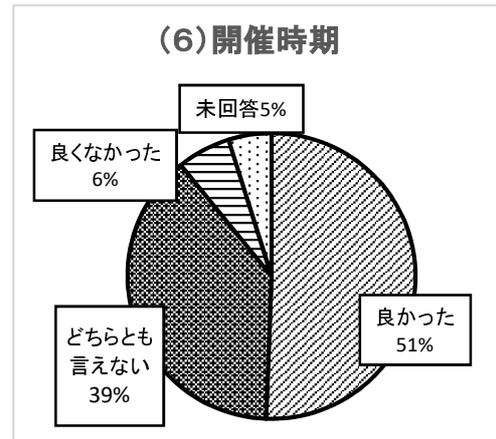
	人数	割合
ちょうど良かった	65	78%
長かった	4	5%
短かった	12	14%
未回答	2	2%



(6)意見交換会の開催時期について

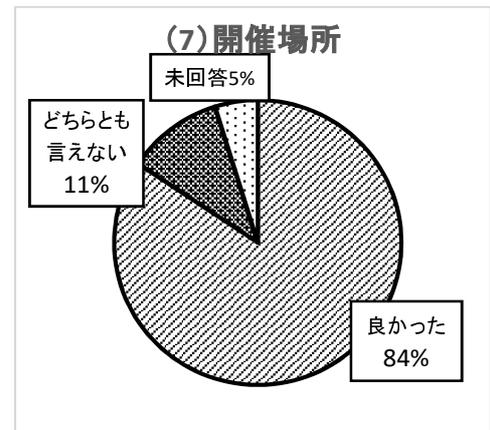
	人数	割合
良かった	42	51%
どちらとも言えない	32	39%
良くなかった	5	6%
未回答	4	5%

- ・ 5～6月ころ
- ・ 4月、5月
- ・ 連絡が遅い
- ・ もっと早く
- ・ 来年度の予算案に間に合う時期
- ・ コロナ禍で延期となったができてよかった
- ・ 防災のことは数日前にやったばかりだった
- ・ 区長の業務の中間期に活動の反省と今後の対応の見直しができる
- ・ 日中に時間をきちんと確保して実施する。夜は疲れて頭が回らない



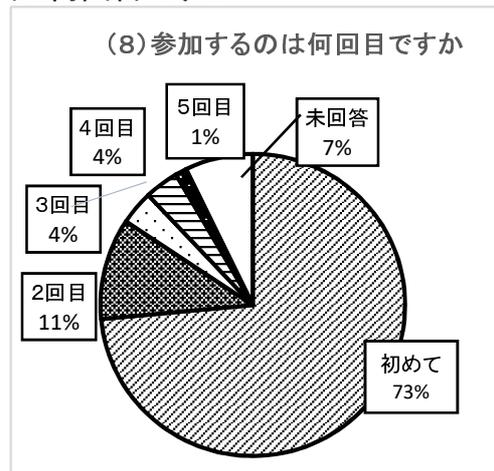
(7)意見交換会の開催場所について

	人数	割合
良かった	70	84%
どちらとも言えない	9	11%
良くなかった	0	0%
未回答	4	5%



(8) 市民と議会との意見交換会に参加するのは今回で何回目ですか

	人数	割合
初めて	61	73%
2回目	9	11%
3回目	3	4%
4回目	3	4%
5回目	1	1%
未回答	6	7%



- ・ もっと多くの方が参加できる方法はないのか
- ・ 役員、一般参加が少ない
- ・ どなたでも参加できます、とあったので気楽に参加したが、様子が違った。団体代表者の集まりか
- ・ せっかくの機会に参加者が少ない。意見を言いたい方がたくさんいるのでもう少し人が集まればよい
- ・ テーマごとに分かれて突っ込んだ話が出来ればもっと良かった
- ・ 何回もやってほしい。一度一緒に意見交換させてください
- ・ 総務文教分科会に出たが、テーマが広きどのことを聞きたいのか分かりづらかった
- ・ みんなが話せるようになるとなおい
- ・ 学校や教育のことを考えてくれてありがたい
- ・ 開催についての伝え方
- ・ 要望の場でよかったの？
- ・ 子育て世代や学生にも集まってもらいたい。取扱説明書は市民にも配布したらどうか
- ・ 年に1度は開催してほしい
- ・ 高遠地区で年に2～3回程度の実施を
- ・ 意味のある意見交換会だったので、同じテーマで継続して深めていくことが大事だと思う
- ・ 防災のテーマはまたやってほしい
- ・ 同一事案について各地区対応が違う。大変参考になった。良いことはマネしたい
- ・ もっと細かい地区でやるべき。最後の各班の発表はいらぬのでは？
- ・ 他の市民の話聞くことができて大変良かった
- ・ 若い方が出席できるような時間帯で計画してほしい(主婦は夕食時間で大変)
- ・ テーマ、会の進め方ともよかった
- ・ ワークショップ形式は話しやすくてよかった。市会議員との交流の機会が必要だと思う
- ・ 議員さんの日ごろの活動についても聞きたかった
- ・ 各区からでる市への要望の説明
- ・ 議員さんとの懇談ということで、市の施策につながっていく方向性を大切にしてほしい
- ・ 地元の議員との交換会？
- ・ もっと多くの方、若い方も参加できるものにしてほしい。子育てをしている若い皆さんの経済的支援(給食費の無償化)などをすすめてほしい
- ・ 問題意識をもっていないと話合いが出来ない。テーマは区長会で決めている。伊那市の中でいろんな問題があることがわかった
- ・ 意見を生かして議会ですさらに議論を望む。入区に際し、”入らなくてもよい”と感じられる市民課の対応にならぬよう、入区を推してほしい
- ・ テーマを個人でも決められるようにしてほしい。たくさんの方が集まるように呼び掛けてほしい。学生も来てほしい。地域の困り事を聞く機会を増やしてほしい。大変です。助けてほしい
- ・ 市報に展開してこの経過を見たい。議員が何を問題としているかによるテーマ設定であるべき。2テーマでどっちつかず。一本化して深く話し合うことが必要では。いい意見を求めるなら昼間に金をかけてでも実施すべきと思う。どこまで本気で取り組もうとしているか
- ・ 地域住民とのつながりも重要だが、市職員とのつながりも大変重要である。(各区長より申請個所を議会ではどれだけ見ているか疑問がある)
- ・ 西春近には春近大橋があり、広域農道と環状線ができないか。沢渡交差点は車、小中学校が危険が状況である
- ・ 開催場所ごとにテーマがあるが、一か所で様々なテーマで話し合える場所がほしい。人口減少問題を話したいときは伊那西小までいかなければならない
- ・ 以前は区長ばかり動員された意見交換会で区長の長話をきくばかりだったが、今回は一般市民目線であった。6人しか出席しなかったが、その分発言時間の制約がなくてよかった